

6 地球温暖化対策の強化について

～京都議定書誕生の地、「環境モデル都市・京都」としての提案～

(総務省・財務省・資源エネルギー庁・環境省)

昨年4月、京都議定書の第一約束期間(2008～2012年)が開始し、日本の取組が国際的に評価される時期を迎えています。

我が国は、期間内の温室効果ガス平均排出量を基準年(1990年)比で6%削減する目標を掲げていますが、2007年度の排出量は反対に基準年を約9.0%上回る状況にあり、ライフスタイル・ワークスタイルの転換など、国民一人ひとり、事業者が総力を挙げて、一層の取組を進める必要があります。

京都市は、京都議定書誕生の地として、また「環境モデル都市」として、市民、事業者と共に、引き続き、全国のモデルとなる取組を進める決意ですが、地球温暖化対策は、国の強力なリーダーシップの下、国と地方が歩調を合わせ取り組むべき国家的課題であることはいうまでもありません。

そこで、次のとおり提案・要望します。

提案事項

- 1 温室効果ガスの大幅削減を目標とした国内での中長期目標の設定
- 2 中長期目標の達成に向けた取組の推進
 - (1) 二酸化炭素の排出量に応じて課税する炭素税(環境税)の創設、国内排出量取引制度の導入を含めた総合的な法制度の整備
 - (2) 深夜化する暮らし方の転換に向けた世論喚起及び意識啓発
 - (3) 「住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金」の補助対象となる価格上限額を地域の特別な実情に応じて設定

例) 景観規制に対応する高額設備が補助対象になるよう設定

要望事項

自然エネルギーによる電力の固定価格買取制度の早期実施

主な要望先：総務省(自治税務局企画課) 財務省(主税局総務課)

資源エネルギー庁(省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー対策課、電気・ガス事業部政策課) 環境省(総合環境政策局環境計画課、地球環境局地球温暖化対策課)

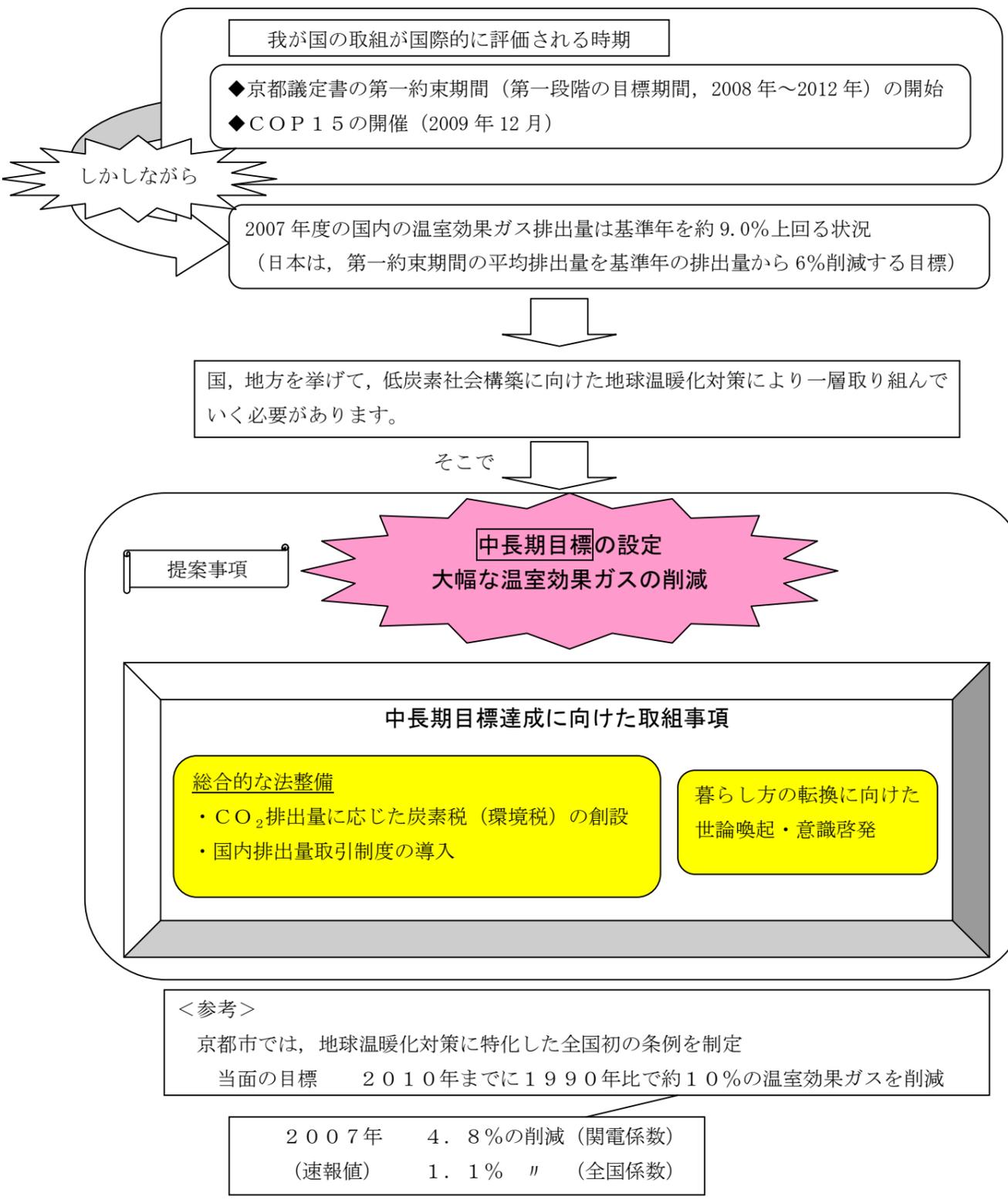
京都市の担当課：環境政策局 地球温暖化対策室 計画推進担当課長 宇高文昭 TEL 075-211-9284

「DO YOU KYOTO?」プロジェクト推進担当課長 上田誠 TEL 075-211-9283

地球温暖化対策の強化について

～京都議定書誕生の地、「環境モデル都市・京都」としての提案～

① 地球温暖化対策の強化について



② 住宅用太陽光発電の普及促進

